

病院長就任のご挨拶

患者さん目線で 先進医療をご提供するために



兵庫医科大学病院長 難波光義

【経歴】

- 昭和51年 3月 大阪大学 医学部医学科卒業
- 昭和58年10月 英国ロンドン大学・ロイヤルポストグラデュエイト・メディカルスクール 研究員
- 昭和60年 11月 大阪大学医学部第2内科 助手
- 平成元年 4月 健康保険組合連合会大阪中央病院 内科医長
- 平成2年 7月 大阪大学医学部第2内科 助手
- 平成9年 4月 大阪大学医学部第2内科 講師
- 平成12年 1月 兵庫医科大学 内科学第二 助教授
- 平成15年 1月 兵庫医科大学 総合内科学糖尿病科 教授
- 平成21年 4月 兵庫医科大学病院 副院長
- 平成26年 4月 兵庫医科大学病院 病院長(現)

【座右の銘】 運は過去、縁は未来

(これまでの人生は過去のもの、これからのご縁を大切に、頑張っていくようにします。)

開院以来42年になる兵庫医科大学病院は、年間約2万人の入院患者さん(うち手術数約1万件)と1日約2200人の外来患者さんの診療を行っています。

2013年春に稼働をはじめた急性医療総合センターには、救命救急センター、手術センター、周産期センター、ICU、IVRセンターなどを集めて、先進的な医療を可能にするとともに災害拠点病院としての機能も強化しました。院内には35の診療科と

とものがんセンター、放射線医療センター、肝疾患センター、IBD(炎症性腸疾患)センターなど30の中央診療施設が存在し、高度医療を提供しています。同時に、大学病院は未来の医療を担う医学生や看護師をはじめとした関連医療職を目指す学生や研修生の育成の場ですので、患者さんの皆さんには彼らの成長を温かく励ましてやっていただきたいと思います。

今後さらに患者さんご家族の満足度を高めるため、各診療科、各職種

間でより強固なチーム医療を実践し、病院全体が一つになって機能できる体制を目指していきます。また患者さん自身が、ご自分の病気や治療の内容を十分に理解した上で積極的にご自身の医療に参画していただけるよう、患者さんと病院職員との良好なコミュニケーションを実現してまいります。

患者さんの悩みや苦しみに対して共感をもって対応できるような、「先進医療を患者目線で提供できる」大学病院を目指したいと考えています。

診療部		
変更前		変更後
冠疾患科	→	冠疾患内科
リウマチ・膠原病科	→	リウマチ・膠原病内科
肝・胆・膵科	→	肝・胆・膵内科
糖尿病科	→	糖尿病・内分泌・代謝内科
内分泌・代謝科	→	
上部消化管科	→	消化管内科
下部消化管科	→	
呼吸器・RCU科	→	呼吸器内科
神経・脳卒中科	→	神経内科
腎・透析科	→	腎・透析内科
総合診療科	→	総合内科
耳鼻咽喉科	→	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
麻酔科	→	麻酔科・疼痛制御科
—	新設	炎症性腸疾患内科
—	新設	炎症性腸疾患外科
—	新設	救急科

平成26年4月より診療科名の変更や診療科の統合、新設がありました。診療科を受診される際はご確認ください。

診療科を受診される際は ご確認ください

本学では人間ドックの充実を図るため、「兵庫医科大学健康医学クリニック」を来年4月1日、PETセンター南側にオープンします。現在、週3回の健診を行っています。予約が難しいという声にお応えし、オープン後は祝祭日、本学創立記念日、年末年始を除く、すべての曜日で健診を行いますのでぜひご利用ください。



健康医学クリニック完成イメージ

兵庫医科大学 健康医学クリニックを 来年4月オープンします

より質の高い医療サービスを提供するために

4月に入職した職員に当院オリジナルの研修を実施

今年4月、兵庫医科大学病院に、研修医や研修歯科医、看護師が多数入職しました。患者さんに質の高い医療サービスを提供するため、医療従事者として必要な「心」と「技」の両方を学ぶ研修に取り組みんでいます。



「臨床の現場に出る前に知っておくべきこと」を再確認

医師や歯科医師になるためには、医学部や歯学部を卒業後、医師国家試験に合格してから、臨床研修病院で2年以上（歯科は1年以上）の「初期研修」を修了する必要があります。当院も臨床研修病院として、毎年50名前後の研修医や研修歯科医を採用しており、毎年、これから初期研修を始める4月1日入職の臨床研修医・臨床研修歯科医に対して、初めての研修として1週間のオリエンテーションを実施しています。

学んだことを実践で活かしやすいように研修プログラムにも工夫

一方、この春、看護部にも155名の新人看護職員が入職し、4月7日～5月1日までの約1ヶ月間、看護師として必要な基礎的知識や技術などの23項目について、実際と同じ物品を使用して復習する初期研修を行いました。『WESET SWEET』を

「電子カルテ操作研修」：講師の指導の下、実際の端末を使用して研修を実施

「輸血部実習」：輸血部の業務や適正輸血について学ぶとともに、遠心分離機を用いて、安全な輸血実施のための輸血検査を実施

「採血実習」：採血の手順や緊急時の対応、おまな合併症を学んだ上で、研修医同士が互いに採血を実施

「手指衛生」：流水手洗いや、擦式アルコール消毒薬の使い方、手袋・エプロンの着脱、サージカルマスクとN95マスクの正しい装着方法などを実践し、「きちんと手洗いができているか」「空気が漏れないようにマスク装着ができていないか」など専用の機器で確認



研修医同士がお互いに採血を行う実習も実施

「WESET SWEET」をモチーフに、SWEETを心に備えたSWEETな看護を実践できる看護師の育成をめざし、新たな教育手法で成長をサポートしている当院では、学校で学んだ専門的知識や技術をベッドサイドでの実践につなげられるよう、ロー



不安を抱えている新入看護職員が早く病院になじめるように作った「ノバイスバッジ」

こうして初期研修を終えた新人看護師は、全員、看護部手作りの「ノバイス(novice)＝初心者(バッチ)」を胸につけて看護に臨みますが、最近ではバッチを見つけた患者さんからも、温かい言葉をかけていただけるようになりました。ノバイスバッジを付けている看護師が、1年後にはそのバッチを外し、イキイキと2年目を迎えることができるよう、看護部では日々万全のサポート体制で育成を支援していきます。

ルプレイングやシミュレーション、グループワークなどを積極的に取り入れた研修を実施していきます。研修プログラムは、研修と勤務が交互になるように計画し、研修場所と現場を行き来することで、学んだことを実践で活かしやすいように工夫。また、新人看護師は、未来に対する期待に胸をふくらませる半面、新しい環境の中での戸惑いや「患者さんの生命にかかわる」という責任の重さも実感します。やがて実感するであろう看護の楽しさややりがいに向けて、まず大切な看護の基本を習得しました。

「チームメンバー」として患者さんにも応援してほしい

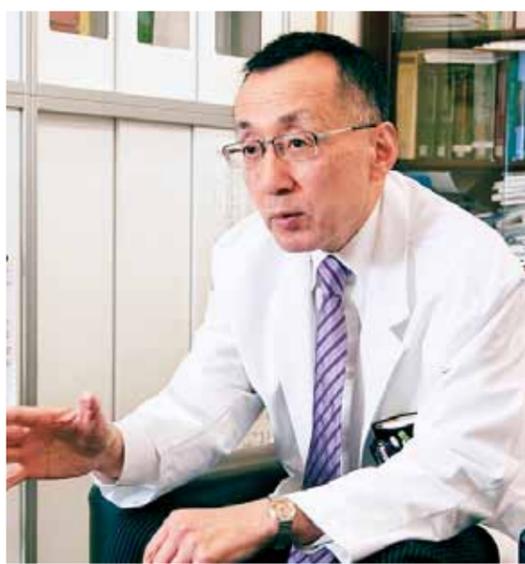
臨床の現場では、医師や研修医、看護師、メディカルスタッフなど、たくさんの関係者が1つの「チーム」となり、病気や怪我に立ち向かう必要があります。そうして互いに切磋琢磨しながらたくさんの方の力を学び合い、医療人として成長していくのです。

今回ご紹介したとおり、兵庫医科大学病院では患者さんに質の高い医療サービスを提供できるように、研修や育成に力を入れて取り組んでいます。しかし、私たちがめざす「チーム医療」を実現するには、医療従事者はもちろん、チームの一員である患者さんのご協力も欠かせませんので、これからも育成や研修に対するご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



診療科紹介

下部消化管外科



下部消化管外科 富田主任教授

下部消化管外科は、炎症性腸疾患を除いたほぼすべての下部消化管疾患を扱う診療科です。主に結腸癌・直腸癌・肛門癌などの悪性疾患を診療対象としており、初発・再発を含めて年間約200例ほどの手術を行っています。

大腸癌の治療は最近数年間で大きく変化してきました。まず、癌の存在が粘膜層から粘膜下層までの早期のものについては、極力内視鏡的治療を検討し消化管内科で実施します。内視鏡下切除では不十分な治療となったもの、あるいは更に進行した大腸癌に対しては外科の出番となりますが、最近の手術方法は、患者さんに優しい腹腔鏡補助下の切除手術が主流となっています。腹部には小さな傷が数か所できるだけで術後の痛みも少なく、術後の日常生活や仕事への復帰も早く、患者さんや家族には喜ばれています。

大腸癌患者さんの大きな関心の一つに人工肛門があります。下部消化管外科では、肛門に近い直腸癌でも術前に放射線療法と抗癌

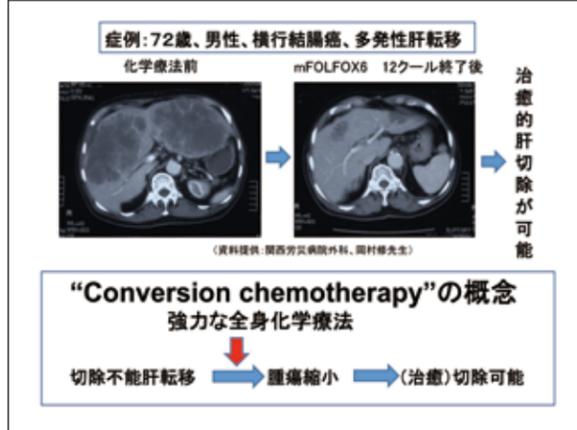


図1. 抗癌剤治療が奏効した大腸癌多発性肝転移の症例

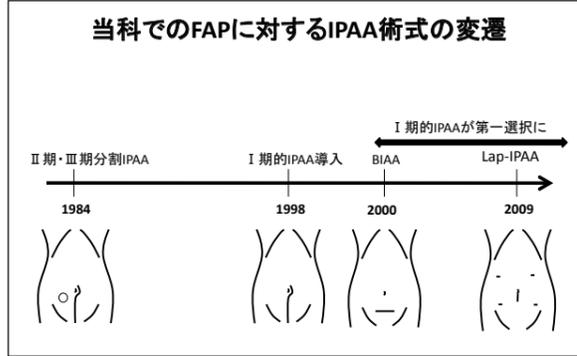


図2. 当科での家族性大腸腺腫症 (FAP) に対するIPAA (自然肛門温存手術での標準) 術式の変遷

剤治療を行って癌の縮小を図ります。その後直腸癌を切除し、必要に応じて肛門から縫合する手技を使用して、極力肛門を温存する方針を取っています。その結果、肛門温存率は90%を超えています。

大腸癌はその進行度に応じて、術後10-30数%の割合で肝臓や肺に転移・再発を起こします。このように進行・再発癌の場合でも、胃癌や膵癌などの癌腫と異なり、大腸癌の治療成績は非常に良好です。それは、大腸癌では化学療法(抗癌剤治療)がとてもよく効くためと、その化学療法後に転移部位を切除できる割合が高いためです。図1に大腸癌の肝転移で抗癌剤が非常によく効いた患者さんの例を示しました。このように大腸癌は進行度や部位に応じて、様々な治療方法が選択されるため、多くの領域の専門医が集

まって治療方針を検討する「キャンサーボード」というミーティングも定期的に行われています。

癌以外にも、高齢者に多い直腸脱に対しては、患者さんに優しい手術法で多くの治療を行っています。また、遺伝性大腸疾患についても全国トップレベルの診療経験数を有しており、原因遺伝子変異の解析から家系内の保因者検査にも有用な遺伝子診断や遺伝力ウンセリングの体制も整備されています。家族性大腸腺腫症の治療の原則は大腸を全部切除する大腸全摘術ですが、これについても近年、腹腔鏡下手術を標準手術として整容面にも配慮しており、特に若年女性患者さんには喜ばれています。図2に当科での手術術式の変遷を示しました。

その他、大腸憩室症、癒着性腸閉塞、虚血性腸炎を含めた腹部救急疾患など幅広く扱っており、また婦人科や泌尿器科領域の疾患においては、他科からの依頼も多く、協同手術なども行っています。

入院中の子どもたちを笑顔にしたい

「クリニックラウン」が小児科病棟・NICU病棟を訪問

入院中の子どもたちは、病気の治療のために様々な制限の中で生活をしているので、子どもらしい時間を過ごすことが難しくなります。映画「パッチ・アダムス」の主人公アダムスは、そのような患者さんをユーモアで楽しませて、笑顔による患者さんのケアを行おうとしました。この作品の上映がきっかけとなり、現在日本でも「クリニックラウン」(臨床道化師)の活動が広がっています。兵庫医科大学病院でも「入院中の子どもたち」に子どもらしく、明るく笑顔になってもらおう!と、平成26年3月27日、NPO法人日本クリニックラウン協会の協力のもと、クリニックラウンのトンちゃんとポリタンによる小児科病棟・NICU病棟訪問が行われました。



ポリタン(右)の突然の訪問



お血を慎重にまわす患者さんとトンちゃん(左)



赤鼻をつけて記念撮影

トンちゃんとポリタン。その様子を見たご家族の皆様も「子どもが普段見せない反応をしていたので、びっくりしたのと同時に、とてもうれしく思いました」と感想を述べられました。また、病棟の師長も「子どもたちだけでなく、く、ご家族やスタッフも元気いっぱいのパワーを受け取っているようでした」と充実した時間を振り返っていました。

*「クリニックラウン」とは病院を意味する「クリニック」と道化師を意味する「クラウン」を合わせた造語のことです。

「くすりの話」

リバウンド現象について

処方された薬を使っている場合に、症状が良かったからといって自分の判断で勝手に薬を止めてはいけません。調子が良くなったと感じられるのは薬が効いているからとも考えられます。薬を急に止めることによって、それまで抑えられていた症状がかえって悪化する場合があります。これをリバウンド現象といいます。医師は、症状が一時的に良くなっても急に薬の使用を中止するのではなく、薬によって段階的に量を減らしたり、弱い薬に替えることでリバウンド現象を防ぐことがあります。必ず医師の指示に従いましょう。

市販薬は一般的に効き目が穏やかなので、リバウンド現象が起こることは少ないとされていますが、心配な症状がある場合は医師・薬剤師に相談しましょう。



処方せん受付

兵庫医科大学病院、
全国の医療機関の
処方せんを
受付けております。

お薬の事など、お気軽にご相談ください。
皆様のご利用をお待ちしております。



武庫川店

[営業時間] 月～金 8:30～17:30 第1・3・5土曜 8:30～13:30
[定休日] 第2・4土、日、祝日
TEL.0798-44-3029 FAX.0798-44-3039



[営業時間] 月～金 8:30～17:30
[定休日] 土、日、祝日
TEL.0798-42-3080 FAX.0798-42-3081

武庫川駅前店

より良い医療サービスの提供がすべてです。

株式会社 阪神調剤薬局

<http://www.hanshin-dp.co.jp>

兵庫医大病院、全国の病院・医院処方せん、お受けします

フロンティア薬局 武庫川駅前店

月曜日～金曜日 9:00～18:00
第1・3・5土曜日 9:00～14:00
第2・4土曜日、日曜日、祝日はお休みです。

TEL:0798-42-6702

FAX:0798-42-6703 無料FAXカードをご用意
してお待ちしております。

〒663-8131 西宮市武庫川町2-19P-1ビル1階



阪神武庫川駅西側出口すぐ
駐車場スペースあり

処方せん受付

N I S H I P H A R M A C Y

西薬局 武庫川店

兵庫医大病院の処方せん受付致します！！

患者様のお薬に対する、不安や疑問を解決して、お薬を安心して正しく服用
して頂ける様、スタッフ一同 取り組んでおります。

お知らせ

処方せんを、お受け取りになられた後、1号館1階
院外処方せんFAXコーナーより、処方せん用紙をFAXして頂き
ますと、お薬をお渡しするまでの時間が短くなり、
大変便利です。西薬局にて、無料のFAX送信カードを
ご用意致しております。
お気軽にお申し付けくださいませ。 * 阪神武庫川駅 西口すぐ！！

西薬局 武庫川店

TEL : 0798-43-3232
FAX : 0798-43-3233

月曜～金曜 9:00～18:00
第1・3・5土曜 9:00～14:00

休日 第2・4土曜
日曜・祝日

薬局前に P アリ



わらおう。

誰もがすこやかに、笑顔でいられる毎日を。

健康のこと、お薬のことお気軽にご相談ください

アイセイ薬局 武庫川店

兵庫県西宮市池開町3-20
Tel. 0798-44-3577
Fax. 0798-41-6400

月・水・金 8:30～19:00
開局 火・木 8:30～17:30
時間 土(第2,4除く) 8:30～13:00
定休日 第2,4土・日・祝



AISEI
www.aisei.co.jp

兵庫医大病院等、どちらの医療機関の処方せんでも受付いたします

市民健康講座のお知らせ

参加費無料・申込不要
(定員60名)

兵庫医科大学病院は特定機能病院として、より高度な医療技術と医療情報を提供するとともに、地域の基幹病院として、患者さんやそのご家族、そして地域住民の皆さんとの間に医療を通じて深い信頼関係を築き、患者サービスの向上を図ることを目的として、本講座を定期的に開催しております。どなたでも、ご自由に参加できますので、どうぞ受講下さい。

開催日	テーマ	講演者
6月11日(水)	乳がんの早期発見と予防	乳腺・内分泌外科 助教 今村 美智子
6月25日(水)	下肢閉塞性動脈硬化症について ～歩くとき足がしびれたり、痛くなる事はありませんか?～	循環器内科 講師 藤井 健一
7月16日(水)	子どもの虐待の発見と対応 ～病院で支える家族の絆～	看護部 看護部長 湯浅 真裕美 医療社会福祉部 ソーシャルワーカー
7月30日(水)	ストーマのお話	炎症性腸疾患外科 准教授 内野 基

開催場所 兵庫医科大学 10号館3階 第3会議室
開催時間 午後3時～4時30分 【午後2時30分開場】
お問い合わせ先 兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター 電話番号：0798-45-6035(直通)

病院NEWSのバックナンバーは兵庫医科大学のホームページよりご覧いただけます。
<http://www.corp.hyo-med.ac.jp/public/hospitalnews.html>

または、[学校法人兵庫医科大学 病院NEWS](#) で検索してください。



くるみ薬局では、「地域に密着した、
信頼と親しみのおける、かかりつけ
薬局」を目指しております。
お気軽にご相談ください。

くるみ薬局では、
すべての病院・医院の
院外処方せんを
受け付けて
おります。

住 所：〒663-8124 兵庫県西宮市小松南町1-17-30
電話番号：0798-46-1155 FAX番号：0798-46-1157
営業時間：月～金曜日 9:00～18:00 / 土曜日 9:00～14:00
*処方せん受付は8:30から行っております。
定休日：第2、第4土曜日、日曜日



くるみ薬局 武庫川店

<http://www.kurumi-ph.jp>



阪神電鉄武庫川駅西口を出て右手すぐにありますので、お気軽にお立ち寄りください。